

第5章 デザイン学研究科

第5章 デザイン学研究科

1 本研究科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン学研究科は、グローバルな視野と感性を持ち、社会を的確にとらえ時代の変化を洞察することで、将来予想される問題を優れたデザインの創出により解決し、豊かで新しい便利な生活と文化に寄与できる人材を育成します。

本研究科では、専攻が定める修士課程のディプロマ・ポリシーに従い学位を授与します。

2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

デザイン学研究科は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、専攻が定める修士課程のカリキュラム・ポリシーに従った教育課程を編成しています。

1 デザイン工学専攻

授 業 科 目 表

授 業 時 間 割 表

1 デザイン工学専攻

1. 1 本専攻の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

デザイン工学専攻は、地域社会と産業界の要請に応えられる、高度な専門的知識・技能・技術をベースにした総合的な思考力を有し、多様な価値創造が可能な高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。

本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

A-1. 【情報分析に基づく幅広い知識・技能の活用力】

十分な情報分析に基づき、それぞれの専門領域に関する知識・技術・技能を活用したデザイン理論による構築力を身に付けている。

A-2. 【自らデザインを発信できる能力】

情報分析に基づき社会動向などを見据えたうえで、創造的かつ造形的なデザインを発信できる能力を身に付けている。

A-3. 【多面的な考察力を備えたマネジメント能力】

問題解決のために物事を多面的に考察するための能力と目的を達成するために必要なマネジメント力を身に付けている。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者と協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

1. 2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

デザイン工学専攻は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次の教育課程を編成しています。

A-1. 【情報分析に基づく幅広い知識・技能の活用力】

高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者に求められるグローバルな幅広い見識と視点、高度な専門性を涵養するために、「製品・情報デザイン学領域」、「建築・都市デザイン学領域」の2つの領域を置いています。

- 1 工業製品、日用品など製品を対象として、技術と感性の調和を図り、同時に人と製品のスムーズな協働(インタラクション)のためにユーザーインタフェースなどの情報を整理し、豊かな生活を創造する製品について実践的、総合的に修得するための製品・情報デザイン学領域科目群を構成しています。
- 2 人間生活の根幹となる建築空間を基軸にして、街づくり、都市や地域環境など広範囲な空間領域を対象として、人と環境の調和を体系的・総合的に修得するための建築・都市デザイン学領域科目群を構成しています。

A-2. 【自らデザインを発信できる能力】

専門的知識、技能、技術をベースにした総合的な思考力により課題解決能力を養い、成果を社会に発信できる力を身に付けるために領域共通科目を配置しています。

A-3. 【多面的な考察力を備えたマネジメント能力】

現代における造形文化を考察し、解明するための視座の獲得および問題解決のために物事を多面的に考察するための能力と目的を達成するために必要なマネジメント力を修得する専攻共通科目を構成しています。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者と協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けるため、研究科共通基盤科目群を配置しています。

デザイン学研究科デザイン工学専攻授業科目表(2022年度入学生用)

授 業 科 目 の 名 称	授業の方法	担 当 教 員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開 講 時間数	単位数	
					必修	選択
製 品 ・ 情 報 デ ザ イ ン 学 領 域	プロダクトデザイン学特論	講義 南川 茂樹	1・2	30		2
	インダストリアルデザイン学特論Ⅰ	講義 三原 鉄平	1・2	30		2
	インダストリアルデザイン学特論Ⅱ	講義 村木 克爾	1・2	30		2
	情報デザイン学特論Ⅰ	講義 船山 俊克	1・2	30		2
	情報デザイン学特論Ⅱ	講義 石 王美	1・2	30		2
	情報デザイン学特論Ⅲ	講義 尾崎 洋	1・2	30		2
	プロダクトデザイン学演習	演習 柳田 宏治*	1・2	60		2
	情報デザイン学演習	演習 八田 晃*	1・2	60		2
	製品・情報デザイン学ゼミナール	演習 領域全担当教員	1	60		2
建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン 領 域	空間計画学特論Ⅰ	講義 西川 博美	1・2	30		2
	空間計画学特論Ⅱ	講義 未定、生田 国男*	1・2	30		2
	空間意匠学特論	講義 福濱 嘉宏	1・2	30		2
	構造デザイン学特論	講義 津田 勢太	1・2	30		2
	建築デザイン学演習Ⅰ	演習 吉田 豊	1・2	60		2
	建築デザイン学演習Ⅱ	演習 向山 徹	1・2	60		2
	建築設計プラクシス	演習 領域全担当教員	1・2	120		4
	建築・都市デザイン学ゼミナール	演習 領域全担当教員	1	60		2
領 域 共 通 科 目	デザイン工学総合演習Ⅰ	演習 製品・情報領域担当教員	1	30		1
	デザイン工学総合演習Ⅱ	演習 穂苅 耕介	1	30		1
	デザイン工学特別演習	演習 専攻全担当教員	2	60	2	
	デザイン工学特別研究	演習 研究指導教員	1~2	270	6	
専 攻 共 通 科 目	美学特論	講義 未定	1・2	30		2
	美術デザイン批評特論	講義 河合 大介	1・2	30		2
	モード特論	講義 川野 佐江子*	1・2	30		2
	デザイン文化特論	講義 小林 昌廣*	1・2	30		2
	文学と美術	講義 柴田 奈美	1・2	30		2
	美学特論演習	演習 平山 敬二*	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅰ	演習 風早 由佳	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅱ	演習 アンソニー・ブルネリ	1・2	60		2
研 究 科 共 通 基 盤 科 目	地域社会とビジネス	講義 杉山 慎策*、渡邊 淳司	1・2	15		1
	地域資源学	講義 田中 晃一	1・2	15		1
	知の理論	講義 未定	1・2	15		1
	時事と歴史を読む	講義 末岡 浩治	1・2	15		1
	データサイエンス	講義 渡邊 淳司	1・2	15		1
	アカデミック・プレゼンテーション演習	演習 関根 紳太郎、末岡 浩治	1・2	30		1
	創造戦略プロジェクト<食>	演習 伊東 秀之 他	1・2	120		4
	創造戦略プロジェクト<ICT>	演習 榊原 勝己 他	1・2	120		4
創造戦略プロジェクト<森と木>	演習 向山 徹、南川 茂樹	1・2	120		4	

【修了要件】 次の要件を全て充足すること。

- 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- デザイン工学専攻の領域及び専攻共通の授業科目並びに指導教員が認める造形デザイン学専攻の授業科目のうちから次の3.の要件を除いて16単位を修得すること。
- 「デザイン工学特別演習」2単位、「デザイン工学特別研究」6単位、研究科共通基盤科目の1単位科目の中から2単位、「創造戦略プロジェクト」4単位の計14単位を修得すること。
- 専攻している領域の選択科目より、講義科目と演習科目それぞれ1科目以上履修のこと。
- 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文又は特定の課題についての研究成果を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。なお、論文または特定の課題についての研究成果の審査は、主査（研究指導教員）1名、副査2名の審査委員会で審査並びに面接を行う。審査基準については別途告知する。
- 学部の授業科目については、研究科委員会の議を経て、4単位まで上記2.の修了要件単位の16単位に含めることができる。単位認定を希望する学生は、修了予定年次の履修登録時に申請手続を行うこと。手続方法については別途告知す

【注意事項】

- 「デザイン工学特別研究」については、積算して2年間の履修後に単位認定を行う。不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、(休学期間を除く)以降直近の期末において再度評価を受けることができる。
- 「デザイン工学特別演習」に関して、休学などの事由により半期のみ履修した場合、指導教員との相談を経て、次年度以降の半期の履修を積算することで単位認定できる。

建築士免許登録における実務の経験(1年)の指定科目について【2022年度入学生用】

デザイン工学専攻建築・都市デザイン学領域において、学外インターンシップとして指定を受けた「建築設計プラクティス」及びその他の科目について、次の表に示す条件を満たして単位を修得することにより、建築士免許登録における実務の経験(1年)として認められる。

なお、インターンシップ「建築設計プラクティス」の単位修得は必須である。

	建築実務に係る科目	本学における科目名	単位	備考
①	インターンシップ	建築設計プラクティス	4	必須科目
		小 計	4	
②	インターンシップ 関連科目 (演習・実習・実験)	建築デザイン学演習Ⅰ	2	
		建築デザイン学演習Ⅱ	2	
		建築・都市デザイン学ゼミナール	2	
		小 計	6	
③	インターンシップ 関連科目 (講義)	空間計画学特論Ⅰ	2	
		空間計画学特論Ⅱ	2	
		空間意匠学特論	2	
		構造デザイン学特論	2	
		小 計	8	
①+②+③の合計単位数			15単位以上	

2022年度 デザイン学研究科 デザイン工学専攻(修士課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期				空間意匠学特論 〈福濱〉 2単位 〈3306〉		デザイン工学総合演習Ⅰ 〈製品・情報領域全担当教員〉 1単位 〈3306〉	プロダクトデザイン学特論 〈南川〉 2単位 〈3305〉		学術論文作法Ⅱ 〈ブルネリ〉 2単位 〈3305〉		美学特論 〈未定〉 2単位 〈3503〉	建築・都市デザイン学ゼミナール 〈領域全担当教員〉 通年・2単位 〈3306〉
1・2年後期		情報デザイン学特論Ⅰ 〈松山〉 2単位 〈3305〉	地域資源学 〈田中〉 1単位 〈8105〉	情報デザイン学特論Ⅱ 〈石〉 2単位 〈3305〉			建築デザイン学演習Ⅱ 〈向山〉 2単位 〈3503〉				空間計画学特論Ⅰ 〈西川〉 2単位 〈3306〉	建築・都市デザイン学ゼミナール 〈領域全担当教員〉 通年・2単位 〈3306〉

曜日 時間	水						木						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1・2年前期	製品・情報デザイン学ゼミナール 〈領域全担当教員〉 通年・2単				情報デザイン学特論Ⅲ 〈尾崎〉 2単位 〈3305〉		インダストリアルデザイン学特論Ⅱ 〈村木〉 2単位 〈3305〉	知の理論 〈未定〉 1単位 〈8105〉 データサイエンス 〈渡邊〉 1単位 〈8105〉	情報デザイン学演習 〈八田*〉 2単位 〈隔週開講〉 〈8103〉				
1・2年後期	製品・情報デザイン学ゼミナール 〈領域全担当教員〉 通年・2単	インダストリアルデザイン学特論Ⅰ 〈三原〉 2単位 〈3306〉	美術デザイン批評特論 〈河合〉 2単位 〈3306〉	学術論文作法Ⅰ 〈風早〉 2単位 〈3306〉			構造デザイン学特論 〈津田〉 2単位 〈3306〉						

曜日 時間	金					
	1	2	3	4	5	6
1・2年前期		アカデミック・プレゼンテーション演習 〈関根、末岡〉 1単位 〈8902〉	文学と美術 〈柴田〉 2単位 〈3621〉	建築デザイン学演習Ⅰ 〈吉田〉 2単位 〈3503〉		
1・2年後期		地域社会とビジネス 〈杉山*、渡邊〉 1単位 〈8901〉 時事と歴史を読む 〈末岡〉 1単位 〈8901〉				

集中授業	
1・2年前期	モード特論〈川野*〉2単位 デザイン文化特論〈小林*〉2単位 美学特論演習〈平山*〉2単位 空間計画学特論Ⅱ〈未定、生田*〉2単位 建築設計プラクティス〈領域全担当教員〉4単位 デザイン工学総合演習Ⅱ〈穂苅〉1単位 デザイン工学特別演習〈専攻全担当教員〉通年・2単位 デザイン工学特別研究〈研究指導教員〉通年・6単位
1・2年後	美学特論演習〈平山*〉2単位 プロダクトデザイン学演習〈柳田*〉2単位 建築設計プラクティス〈領域全担当教員〉4単位 デザイン工学特別演習〈専攻全担当教員〉通年・2単位 デザイン工学特別研究〈研究指導教員〉通年・6単位
1・2年通年 研究科共通 基盤科目	創造戦略プロジェクト〈食〉〈伊東他〉4単位 創造戦略プロジェクト〈ICT〉〈榊原、佐藤洋他〉4単位 創造戦略プロジェクト〈森と木〉〈向山、南川〉4単位

履修上の留意事項

- ◎ デザイン工学特別研究は、1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。
- ◎ 集中授業の日程及び教室は別途指示する。
- ◎ *は非常勤講師。
- 担当教員は変更になる場合がある。

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎: 各方針に関係が深い科目 ○: 各方針に関係する科目			
		A-1	A-2	A-3	B
製品・情報デザイン学領域	プロダクトデザイン学特論	◎			
	インダストリアルデザイン学特論Ⅰ	◎			
	インダストリアルデザイン学特論Ⅱ	◎			
	情報デザイン学特論Ⅰ	◎			
	情報デザイン学特論Ⅱ	◎			
	情報デザイン学特論Ⅲ	◎			
	プロダクトデザイン学演習		◎		
	情報デザイン学演習		◎		
製品・情報デザイン学ゼミナール		○	◎		
建築・都市デザイン学領域	空間計画学特論Ⅰ	◎			
	空間計画学特論Ⅱ	◎			
	空間意匠学特論	◎			
	構造デザイン学特論	◎			
	建築デザイン学演習Ⅰ	◎			
	建築デザイン学演習Ⅱ		◎		
	建築設計プラクシス		◎		
	建築・都市デザイン学ゼミナール		○	◎	
領域共通	デザイン工学総合演習Ⅰ		◎		
	デザイン工学総合演習Ⅱ		◎		
	デザイン工学特別演習		○	◎	
	デザイン工学特別研究		○	◎	
専攻共通科目	美学特論			◎	
	美術デザイン批評特論			◎	
	モード特論			◎	
	デザイン文化特論			◎	
	文学と美術			◎	
	美学特論演習			◎	
	学術論文作法Ⅰ			◎	
学術論文作法Ⅱ			◎		
研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス				◎
	地域資源学				◎
	知の理論				◎
	時事と歴史を読む				◎
	データサイエンス				◎
	アカデミック・プレゼンテーション演習				◎
	創造戦略プロジェクト<食>				◎
	創造戦略プロジェクト<ICT>				◎
創造戦略プロジェクト<森と木>				◎	

デザイン工学専攻DP

DP(学位授与の方針)
<p>デザイン工学専攻は、地域社会と産業界の要請に応えられる、高度な専門的知識・技能・技術をベースにした総合的な思考力を有し、多様な価値創造が可能な高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。 本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。</p>
<p>A-1【情報分析に基づく幅広い知識・技能の活用力】 十分な情報分析に基づき、それぞれの専門領域に関する知識・技術・技能を活用したデザイン理論による構築力を身に付けている。</p>
<p>A-2【自らデザインを発信できる能力】 情報分析に基づき社会動向などを見据えたうえで、創造的かつ造形的なデザインを発信できる能力を身に付けている。</p>
<p>A-3【多面的な考察力を備えたマネジメント能力】 問題解決のために物事を多面的に考察するための能力と目的を達成するために必要なマネジメント力を身に付けている。</p>
<p>B【ヒューマンスキル】 物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力コミュニケーション能力を有し、多様な他者と協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。</p>

2 造形デザイン学専攻

授業科目表

授業時間割表

2 造形デザイン学専攻

2. 1 本専攻の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

造形デザイン学専攻は、デザインの専門知識と技能、技術を活用して論理的思考に基づき、新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決し、社会に貢献することのできる高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。

本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

A-1. 【幅広い知識・技能に自立した研究遂行能力】

専門知識と技能、技術を活用して論理的思考に基づき、新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決できる能力を身に付けている。

A-2. 【自らデザインを発信できる能力】

情報分析に基づき社会動向などを見据えたうえで、創造的かつ造形的なデザインを発信できる能力を身に付けている。

A-3. 【多面的な考察力を備えたマネジメント能力】

問題解決のために物事を多面的に考察するための能力と目的を達成するために必要なマネジメント力を身に付けている。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者と協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

2. 2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

造形デザイン学専攻は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次の科目群を編成しています。

A-1. 【幅広い知識・技能に自立した研究遂行能力】

高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者に求められるグローバルな幅広い見識と視点、高度な専門性を複合的に涵養するために、1専攻1領域制を導入しています。

- 1 印刷メディアを主体とした造形構成・編集や、デジタルメディアを主体としたコンテンツ形成におけるデザイン性・機能性が研究できるよう、ビジュアルデザインに関する高度な専門知識、能力、技術を育成する造形デザイン学領域科目群を構成しています。
- 2 セラミック・テキスタイル・木材を使ったアイテムのデザイン性・機能性や、現代を意識した表現の可能性が研究できるよう、造形デザインに関する高度な専門知識、能力、技術を育成する造形デザイン学領域科目群を構成しています。

A-2. 【自らデザインを発信できる能力】

授業の取り組みとしてプロジェクトに関わり、公共機関や企業などに社会提案を行うことで、実践的な力を養う造形デザイン学領域科目を配置しています。

A-3. 【多面的な考察力を備えたマネジメント能力】

現代における造形文化を考察し、解明するための視座の獲得および問題解決のために物事を多面的に考察するための能力と目的を達成するために必要なマネジメント力を修得する造形デザイン学領域科目および専攻共通科目を構成しています。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者と協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けるため、研究科共通基盤科目群を配置しています。

デザイン学研究科造形デザイン学専攻授業科目表(2022年度入学生用)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開講 時間数	単位数	
						必修	選択
造形 デ ザ イ ン 学 領 域	エディトリアルデザイン学特論	講義	高橋俊臣	1・2	30		2
	メディアデザイン学特論	講義	嘉数 彰彦	1・2	30		2
	コミュニケーションデザイン学特論	講義	野宮 謙吾	1・2	30		2
	セラミックデザイン学特論	講義	作元 朋子	1・2	30		2
	セラミック造形学特論	講義	真世土 マウ	1・2	30		2
	テキスタイルデザイン学特論	講義	難波 久美子、渡邊 操	1・2	30		2
	テキスタイル造形学特論	講義	島田 清徳	1・2	30		2
	エディトリアルデザイン学演習	演習	中西 俊介	1・2	60		2
	メディアデザイン学演習	演習	齋藤 美絵子	1・2	60		2
	コミュニケーションデザイン学演習	演習	西田 麻希子	1・2	60		2
	セラミックデザイン学演習	演習	作元 朋子	1・2	60		2
	セラミック造形学演習	演習	真世土 マウ	1・2	60		2
	テキスタイルデザイン学演習	演習	難波 久美子、渡邊 操	1・2	60		2
	テキスタイル造形学演習	演習	島田 清徳	1・2	60		2
	フォトデザイン演習	演習	北山 由紀雄	1・2	60		2
	プリンティング造形演習	演習	関崎 哲	1・2	60		2
	デジタルコンテンツデザイン演習	演習	山下 万吉	1・2	60		2
	産業陶磁演習	演習	真世土 マウ、作元 朋子	1・2	60		2
	インスタレーション演習	演習	三橋 遵*	1・2	60		2
造形デザイン学特別演習	演習	専攻全担当教員	2	60	2		
造形デザイン学特別研究	演習	研究指導教員	1~2	180	6		
専攻 共 通 科 目	美学特論	講義	未定	1・2	30		2
	美術デザイン批評特論	講義	河合 大介	1・2	30		2
	モード特論	講義	川野 佐江子*	1・2	30		2
	デザイン文化特論	講義	小林 昌廣*	1・2	30		2
	文学と美術	講義	柴田 奈美	1・2	30		2
	美学特論演習	演習	平山 敬二*	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅰ	演習	風早 由佳	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅱ	演習	アンソニー・ブルネリ	1・2	60		2
研 究 科 共 通 基 盤 科 目	地域社会とビジネス	講義	杉山 慎策*、渡邊 淳司	1・2	15		1
	地域資源学	講義	田中 晃一	1・2	15		1
	知の理論	講義	未定	1・2	15		1
	時事と歴史を読む	講義	末岡 浩治	1・2	15		1
	データサイエンス	講義	渡邊 淳司	1・2	15		1
	アカデミック・プレゼンテーション演習	演習	関根 紳太郎、末岡 浩治	1・2	30		1
	創造戦略プロジェクト<食>	演習	伊東 秀之 他	1・2	120		4
	創造戦略プロジェクト<ICT>	演習	楠原 勝己、佐藤 洋一郎 他	1・2	120		4
	創造戦略プロジェクト<森と木>	演習	向山 徹、南川 茂樹	1・2	120		4
<p>【修了要件】 次の要件を全て充足すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。 造形デザイン学専攻の領域及び専攻共通の授業科目並びに指導教員が認めるデザイン工学専攻の領域科目のうちから次の3の要件を除く16単位。 「造形デザイン学特別演習」2単位、「造形デザイン学特別研究」6単位、研究科共通基盤科目の1単位科目の中から2単位、「創造戦略プロジェクト」4単位、の計14単位。 造形デザイン学領域の選択科目より、講義科目と演習科目それぞれ1科目以上履修のこと。 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文又は特定の課題についての研究成果を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。なお、論文または特定の課題についての研究成果の審査は、主査（研究指導教員）1名、副査2名の審査委員会が審査並びに面接を行う。審査基準については別途告知する。 学部の授業科目については、研究科委員会の議を経て、4単位まで上記2の修了要件単位の16単位に含めることができる。単位認定を希望する学生は、修了予定年次の履修登録時に申請手続きを行うこと。手続方法については別途告知する。 <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「造形デザイン学特別研究」については、積算して2年間の履修後に単位認定を行う。不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、（休学期間を除く）以降直近の期末において再度評価を受けることができる。 「造形デザイン学特別演習」に関して、休学などの事由により半期のみ履修した場合、指導教員との協議を経て、次年度以降の半期の履修を積算することで単位認定できる。 							

2022年度デザイン学研究科 造形デザイン学専攻(修士課程)

曜日	月						火							
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
1・2年前期	メディアデザイン学演習 〈齋藤〉 2単位 〈3612〉		フォトデザイン演習 〈北山〉 2単位 〈3515〉		メディアデザイン学特論 〈嘉数〉 2単位 〈3105〉		テキストスタイル造形学特論 〈島田〉 2単位 〈3211〉		セラミックデザイン学特論 〈作元〉 2単位 〈3212〉		コミュニケーションデザイン学特論 〈野宮〉 2単位 〈3621〉		美学特論 〈未定〉 2単位 〈3503〉	
	産業陶磁演習 〈真世土・作元〉 2単位 〈7110〉										学術論文作法Ⅱ 〈ブルネリ〉 2単位 〈3305〉			
1・2年後期	セラミック造形学特論 〈真世土〉 2単位 〈3212〉		【後前期】 地域資源学 〈田中〉 1単位 〈8105〉		セラミックデザイン学演習 〈作元〉 2単位 〈7114〉		コミュニケーションデザイン学演習 〈西田〉 2単位 〈3621〉		エディトリアルデザイン学演習 〈中西〉 2単位 〈3621〉		エディトリアルデザイン学特論 〈高橋〉 2単位 〈3621〉			

曜日	水						木							
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
1・2年前期	テキストスタイルデザイン学演習 〈難波・渡邊操〉 2単位 〈3211〉		テキストスタイルデザイン学特論 〈難波・渡邊操〉 2単位 〈3211〉						【前前期】 知の理論 〈未定〉 1単位 〈8105〉		セラミック造形学演習 〈真世土〉 2単位 〈7110〉			
			デジタルコンテンツデザイン演習 〈山下〉 2単位 〈3515〉						【後前期】 データサイエンス 〈渡邊〉 1単位 〈8105〉					
1・2年後期	プリンティング造形演習 〈関崎〉 2単位 〈3512〉		美術デザイン批評特論 〈河合〉 2単位 〈3306〉		学術論文作法Ⅰ 〈風早〉 2単位 〈3306〉									
	テキストスタイル造形学演習 〈島田〉 2単位 〈3211〉													

曜日	金							
時間	1	2	3	4	5	6		
1・2年前期	アカデミック・プレゼンテーション演習 〈関根、末岡〉 1単位 〈8902〉		文学と美術 〈柴田〉 2単位 〈3621〉					
1・2年後期	【後前期】 地域社会とビジネス 〈杉山*、渡邊〉 1単位 〈8901〉		インсталレーション演習 〈三橋*〉 2単位(隔週開講) 〈3211〉					
	【後後期】 時事と歴史を読む 〈末岡〉 1単位 〈8901〉							

集中授業	
1・2年前期	モード特論〈川野*〉2単位 デザイン文化特論〈小林*〉2単位 美学特論演習〈平山*〉通年・2単位 造形デザイン学特別演習〈専攻全担当教員〉通年・2単位 造形デザイン学特別研究〈研究指導教員〉通年・6単位
1・2年後期	美学特論演習〈平山*〉通年・2単位 造形デザイン学特別演習〈専攻全担当教員〉通年・2単位 造形デザイン学特別研究〈研究指導教員〉通年・6単位
研究科共通基盤科目 1・2年通年	創造戦略プロジェクト〈食〉〈伊東他〉 4単位 創造戦略プロジェクト〈ICT〉〈榎原、佐藤洋他〉 4単位 創造戦略プロジェクト〈森と木〉〈向山、南川〉 4単位

履修上の留意事項

- ◎ 集中授業の日程及び教室は別途指示する。
 - ◎ 造形デザイン学特別研究は、1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。
 - ◎ *は非常勤講師。
- 担当教員は変更になる場合がある。

造形デザイン学専攻 カリキュラムマップ

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針に関係が深い科目 ○:各方針に関係する科目			
		A-1	A-2	A-3	B
造形デザイン学領域	エディトリアルデザイン学特論	◎			
	メディアデザイン学特論	◎			
	コミュニケーションデザイン学特論	◎			
	セラミックデザイン学特論	◎			
	セラミック造形学特論	◎			
	テキスタイルデザイン学特論	◎			
	テキスタイル造形学特論	◎			
	エディトリアルデザイン学演習		◎		
	メディアデザイン学演習		◎		
	コミュニケーションデザイン学演習		◎		
	セラミックデザイン学演習		◎		
	セラミック造形学演習		◎		
	テキスタイルデザイン学演習		◎		
	テキスタイル造形学演習		◎		
	フォトデザイン演習		◎		
	プリンティング造形演習		◎		
デジタルコンテンツデザイン演習		◎			
産業陶磁演習		◎			
インスタレーション演習		◎			
造形デザイン学特別演習		○	◎		
造形デザイン学特別研究		○	◎		
専攻共通科目	美学特論			◎	
	美術デザイン批評特論			◎	
	モード特論			◎	
	デザイン文化特論			◎	
	文学と美術			◎	
	美学特論演習			◎	
	学術論文作法Ⅰ			◎	
	学術論文作法Ⅱ			◎	
研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス				◎
	地域資源学				◎
	知の理論				◎
	時事と歴史を読む				◎
	データサイエンス				◎
	アカデミック・プレゼンテーション演習				◎
	創造戦略プロジェクト<食>				◎
	創造戦略プロジェクト<ICT>				◎
	創造戦略プロジェクト<森と木>				◎

造形デザイン学専攻DP

DP(学位授与の方針)
<p>造形デザイン学専攻は、デザインの専門知識と技能、技術を活用して論理的思考に基づき、新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決し、社会に貢献することのできる高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。 本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。</p>
<p>A-1【幅広い知識・技能に自立した研究遂行能力】 専門知識と技能、技術を活用して論理的思考に基づき、新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決できる能力を身に付けている。</p>
<p>A-2【自らデザインを発信できる能力】 情報分析に基づき社会動向などを見据え、創造的かつ造形的なデザインを発信できる能力を身に付けている。</p>
<p>A-3【多面的な考察力を備えたマネジメント能力】 問題解決のために物事を多面的に考察するための能力と目的を達成するために必要なマネジメント力を身に付けている。</p>
<p>B【ヒューマンスキル】 物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力コミュニケーション能力を有し、多様な他者と協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。</p>